あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つ よ し

—第３４号—

令和５年１２月１１日
平戸市立津吉小学校
文責　校長　田川定司

ネイティブアメリカンの「子育て四訓」

カレンダーも残すところ１２月の一枚となり、一年の暮れを感じる季節となりました。２学期も残り２週間となりましたが、充実した２学期を振り返らせ、それぞれの成長を確認し、新しい年に夢を持たせていきたいと思います。

子育て四訓
乳児は　しっかり肌を離すな
幼児は　肌を離せ　手を離すな
少年は　手を離せ　目を離すな
青年は　目を離せ　心を離すな

さて、アメリカの先住民族であるネイティブアメリカンには、子供が自立に向けて育っていくための親の心得「子育て四訓」が古くから伝えられてきました。この「子育て四訓」を換言すると、いつまでも「肌を離さなかったら」極めて強い依存心をもったまま甘えた人になります。いつまでも「手を離さなかったら」人から教えてもらわないと問題を解決できない人になります。いつまでも「目を離さなかったら」何かに庇護されていないと責任も負えない人になります…と言うことでしょうか。私たち教員にとっても教育活動を展開する上で、とても参考になる心得です。子供たちが、たくましく自立した大人になれるよう、引き続き努めて参ります。

青少年健全育成標語

今年度も「青少年健全育成標語」の募集があり、審査の結果、下記の１６名の作品が入賞を果たしました。おめでとう！！　　なお、入選作品は、校舎の中央階段に掲示しています。

賞	作　品　（　標　語　）	氏　名	学年
優秀賞	[redacted]		２年
			４年
			６年
優良賞			１年
			２年
			３年
			４年
			５年
			６年
入選			１年
			３年
			３年
			４年
			４年
			５年
			６年

郷土の偉人「伊藤英一」

５年前の学校だよりで紹介しましたが、津吉小学校校歌の作曲家であり、郷土の作曲家である「伊藤英一」を紹介します。伊藤英一は、横浜や長崎で活躍した中津良出身の作曲家で、長崎東高校など県内６０校余りの校歌を作曲した長崎県の「校歌の父」です。

もちろん故郷の旧中津良小、旧堤小だけでなく、津吉小も南部中の校歌も作曲されている作曲家です。その伊藤英一のことが、「中津良小学校閉校記念誌」に掲載されていましたので、執筆者の大石光彦様の了解を得て、再び、学校だよりで紹介させていただきます。

子供たちには、郷土の偉人の生き方や功績を知ることで、「夢・あこがれ・志」が育つよう願っています。

平戸・中津良小PTA
会長　大石光彦

横浜音楽研究所の子どもたちと